

# 国民健康保険「広域化」・ねらいは医療費の削減

昨年12月28日、「熊本県市町村国民健康保険支援方針」が策定されました

## 徴収強化と医療費抑制を迫る、 県の「国保支援方針」

民主党政権のすすめる国民健康保険の「広域化」に向け、県の「市町村国民健康保険支援方針」が策定されました。

- ① 収納率が向上した市町村には、特別調整交付金を配分し、収納率向上を強く求めます。今でも、厳しい徴収や滞納整理が行われることとなります。
- ② 市町村国保の県単位化(広域化)に向け、将来的には、国の方針に基づき一般会計繰り入れ中止の方向を示しています。

## 国が求める一般会計繰り入れ中止は 保険料引上げによる「医療費抑制」

昨年5月に厚生労働省が出した、国民健康保険の「広域化等支援方針の策定について」の通知では、「一般会計繰り入れによる赤字の補てん分については、保険料の引き上げ、収納率の向上、医療費適正化の推進等により、できる限り早期に解消するよう努めること」と明記されています。民主党政権は、医療費の増大が、保険料と連動し、保険料が高くなる仕組みにしようとしています。

## ますます払えない保険料になる 4月の値上げは中止を！

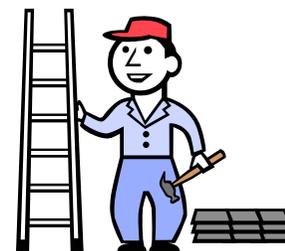
熊本市が今年4月に予定している一人平均9,900円の保険料値上げは、今でも負担が重く払えない保険料を、ますます払えなくするものです。



今必要なことは、徴収強化よりも、払える保険料へと、加入者の実態に即して、保険料の負担軽減を行うことです。

## 「住宅リフォーム助成制度」 パンフレットができました！

日本共産党熊本市議団で、「住宅リフォーム助成制度」のパンフレットを作成しました。予算額の数十倍の効果を生む「住宅リフォーム助成制度」の内容、全国各地の取り組みなどを紹介しています。

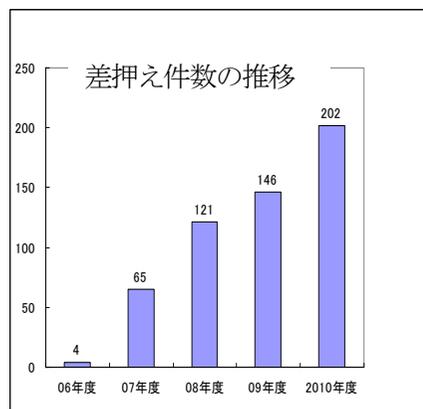


熊本市でも是非実現するために、パンフレットをご活用ください。

## 熊本市の国保料、厳しい差押え！

【年々増えている差押さえ・5年で50倍】

06年度	4件	5,988,494円
07年度	65件	107,887,321円
08年度	121件	126,091,593円
09年度	146件	130,353,494円
2010年度	202件	150,020,998円



控室から 益田牧子  
教室にストーブの設置を！  
最高気温が10度を切るような寒い日が続いています。家の中でもストーブがなければ寒くて、震え上がります。ところが、小学4年生以上・中学校の普通教室には、未だストーブが設置されていないのをご存知でしょうか。地元の小学校を訪問しました。4年生以上は、南向きの教室に配置するなど工夫されていますが、廊下側の子ども達は寒そうでした。  
熊本市では、1980年に体づくり推進の環境として、ストーブが撤去されました。保護者からの要望もあり、92年、『耐寒能力を向上させる場と学習の場は切り離す必要がある』『寒さや手のかじかみなどに気持ち悪くなることなく、安心してのびのびと学習に取り組める環境を整えることが望ましい』との判断が示され、小学3年生までの教室にはストーブが戻りました。  
その後、社会状況・家庭の状況も大きく変わってきたのに、20年近くそのままの基準です。私たちは、繰り返しストーブの設置やエアコン設置を要望してきました。学校を訪問して、「1日も早く、全ての教室に、せめてストーブ設置を実現したい」の思いをこぼしています。

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 742  
2011年2月6日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

# 市民参加で『区バス路線』の検討を!

## 「福祉サービス」を受ける低所得者や交通弱者のために、安価な料金設定で

1月25日開催された「バス交通のあり方検討会」では、熊本市から「区バス」案が示されました。延伸や迂回などの『既存バス路線』の活用と、地域の実情に即して走らせる『コミュニティ路線』の新設(8路線)が示されました。今後、校区単位、校区自治協議会など地域住民の意見を聞き、運行計画(運行路線、停留所、便数など)、運賃などが決まります。

住民の反対の声を無視して、不便なところに区役所を設置しているのに、「収支のバランスや整備費用を考慮する」「料金収入及び基準に基づく行政の負担で経費を賄えない場合は、受益者負担を求める」方針も示されています。検討委員会では、益田議員が、「住民参加を徹底すること」や福祉事務所は区役所にあり、低所得者も多いことから、「新潟市は200円均一料金としている。交通弱者への安価な料金設定」を求めました。

### 北区案

- ①交通センター～立石路線の延伸検討
- ②植木駅周辺～区役所方面路線検討
- ③西里駅周辺～北部総合支所～北部東地区の路線検討
- ④区役所～楠・龍田方面の路線検討

\*現行のバス路線の最短ルートで乗換えが2回発生するなど利便性が悪いこと、アンケート調査の結果から植木方面から光の森等への買い物によるバス路線が見込めることから、路線を検討。

- ⑤南原バス停での乗りつぎ検討

### 西区案

- ①交通センター～河内経由路線検討
- ②交通センター～池の上～小島路線の変更検討
- ③交通センター～西部車庫路線の延伸検討

### 南区

- ①交通センター～川尻市道経由路線の延伸検討
- ②交通センター～国道3号経由路線の乗入検討
- ③富合・城南地区の路線検討
- ④飽田・天明地区の路線検討

下線のある路線は、既存路線のないコミュニティバス路線です

### 東区案

- ①交通センター～健軍電停～秋津団地路線の変更検討
  - ②交通センター～健軍電停～沼山津路線の変更検討
  - ③健軍長嶺線の見直し
  - ④江津団地～セイラタウン～区役所の路線検討
- \*現在の路線では2回乗り換えが発生することから、江津方面から広木・若葉築を通り、区役所を結ぶ路線を検討
- ⑤桜木・花立地区の路線検討
  - ⑥託麻・長嶺地区の路線検討